

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」
について

1. 背景

2002年に開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）において我が国の小泉首相（当時）から「国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD）」について提案し、同年の第57回国連総会において、2005年から始まる10年を「国連DESD」とすることが決議された。国連DESDの最終年である2014年に日本政府とユネスコの共催で愛知県名古屋市及び岡山市にて「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催予定である。

2. 目的

我が国を始め世界各国における国連DESDの活動を振り返るとともに、2014年以降のESD推進方策について議論し、ESDの更なる発展を目指す。

3. 日程

愛知県名古屋市において閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合を開催する。それに先立ち、国連機関、研究者、学校関係者等各種ステークホルダーの会合を岡山市において開催し、その議論結果を愛知県名古屋市での会合に反映させる。

○愛知県名古屋市

- ・閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合
2014年11月10日（月）～12日（水）
ユネスコ加盟195カ国から閣僚を含む約1000人規模の会合
※なお、11月13日（木）に国内関係者によるフォローアップ会合を開催

○岡山市

- ・ユネスコスクール世界大会
2014年11月6日（木）～8日（土）
国内外の高校生及び教員計600人超が参加
- ・ユース・コンファレンス
2014年11月7日（金）
世界各国の18～35歳のESD実践者50名が参加
- ・持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議
2014年11月4日（火）～7日（金）
世界各国のESD実践者150～200名が参加